



第 76 卷 第 8 号

令和六年八月二〇日発行(毎月一回二〇日発行)
昭和七年一月第一次「信濃」創刊以来総巻一〇三二号

通巻第八九五号

隣県特集 その2

長野県地方史学界の動向—令和5年(2023年)—

長野県地方史研究の動向……………1
櫻井秀雄・福島正樹・市川包雄
田玉徳明・巻山圭一

論文

『本家日記』にみる近世後期の……………中村美美子…27
村社会の特質と変容(下)

研究ノート

樽木成村成立試論……………前澤 健…47

総会報告

2024(令和6)年度 定期総会報告……………事業委員会…63
速渡 賀大

会誌『信濃』 投稿規定改定……………編集委員会…70

会告 第九回地方史講座のお知らせ……………(表紙Ⅱ)

お知らせ……………(表紙Ⅲ)

受贈図書紹介(61~62) / 雑誌関係要目

信 濃 史 学 会

編集後記

信濃第七六巻第八号をお届けする。本号は前号の会告の通り、地方史研究の動向を県別に紹介する「隣県特集号」の長野県分を掲載する。それに加え、論文一本と研究ノート一本、そして令和六年度信濃史学会定期総会報告、という構成になっている。

本誌初掲載の中村美美子氏は、大学院修士課程に学ぶ中で埴科郡森村（現千曲市森）の文化・文政期の名主、中条唯七郎と出会った。彼が書き残した様々な史料は、江戸時代後期の村のすがた、文化、幕府や藩の動向など近世庶民生活史を研究する上で大変貴重なものとされている。その「見聞集録」や「善光寺地震大変録」の現代語訳に氏は取り組み、六九巻全九三冊に及ぶ「本家日記」については一〇年余りかけて翻刻を行い、自費出版で全六巻の「本家日記」として昨年刊行した。その過程から得られた知見をもとに、今回の論考は執筆されている。本論で注目されるのは、天保の飢饉後に起こった村社会の様相の変化についてである。村社会への商品経済の浸透が、生産や流通の活性化につながり、村を変えていく事になったと氏はまとめるが、村で起こっていた様々な日常となる事例が非常に重要である。ぜひ、文化年間から三〇年余りにわたる村の出来事や社会の変化を、翻刻された「本家日記」で読んでもらいたい。

飯田市歴史研究所特任研究員である前澤健氏

は、近世下伊那の柿相米や樽木役等についてイフワークとして研究を続けてこられた。今回の研究ノートは、第七五巻第八号「御樽木成の由緒」の形成」に続く掲載である。年貢を樽木で上納していた樽木成村が信濃国伊那郡下に三八カ村あったが、その起源については慶長起源説、寛文一二年成立説、寛文一二年再編説と諸説ある。本研究ノートは、貢租としての樽木成の特質を明らかにし、正式に樽木成が貢租として位置付いた時期を検討しようというのが眼目である。幾多の史料を検討した結果、貢租としての樽木成は、「山中の樽木成」を負担する年に適用される臨時の貢租であり、制度としての樽木成村は正保四年から明暦三年の間に成立したと考えられる、と諸説ある樽木成の起源に新しい可能性を指摘したと言える。

長野県における修史編さん事業については、第七六巻第六号（前々号）の特集にある村石正行氏のシンポジウム報告に詳しい。そこに①修史事業は資料収集・保存と一体のもの、②編さん従事者、執筆者の確保、③県民・市民参加型のあり方、の三点が新しい県史の課題として挙げられている。

本号の定期総会報告の通り、慶応大学の清水唯一朗氏が「聴く」からひらく、信州の近現代」と題して総会の記念講演をされた。その詳細は今後本誌に掲載される予定だが、オーラルヒストリーが現代史を記す一つの方法として重要であるという趣旨であったと思う。ひとつの市民・県民参加の方法になるだろう。新しい県史の中にも、オーラルヒストリーの手法により

集めた長野県の証言をまとめる巻冊を作ることができるとは考えさせられた。

今回の新しい県史によって集められた資料が保存・公開される場所は、長野県立歴史館になるだろう。史資料の収集と同時にアーキビストの審査を経て公開していくような編さんと公開を同時並行に進めていく編さん事業が可能である。新しい県史編さんの中、オーラルヒストリーで集められた県民による長野県の証言を、AIによって解析し、その証言者の声色に限りなく近づけた自動音声で、対話をするのことが聞くことができる、こんな形で公開できないだろうか。歴史館に行くと、そんな展示に出会えると想像すると、新しい県史編さんにワクワク感が増す。

（田玉徳明）

信濃 第76巻 第8号

2024年8月20日発行 定価 1,150円 1ヵ月 850円
(令和6年) 送料 88円 会費 6ヵ月 5,100円
1ヵ年 10,200円

編集者 兼 信濃史学会
編集者 兼 信濃史学会
印刷者兼 印刷所
印刷者兼 印刷所

会長 後藤 孝孝
編集委員長 藤 芳芳
長野市長野市西和田1丁目30番3号
信濃史学会
取締役社長 矢島 哲

発行所

長野県松本市村井町南1-28-35
信濃史学会
電話/FAX 松本(0263)58-1213
http://www.shinano-shigakukai.jp/
Email shinano-has@po.mcci.or.jp
振替 長野 00500-8-16995
郵便番号 399-0036